

第5回がんに関する普及啓発懇談会

日本放射線技師会における がん検診の取り組み

平成22年4月13日(火)

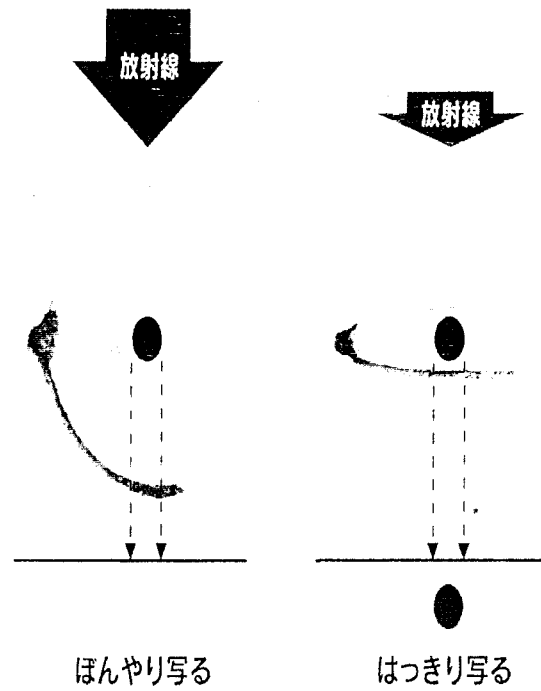
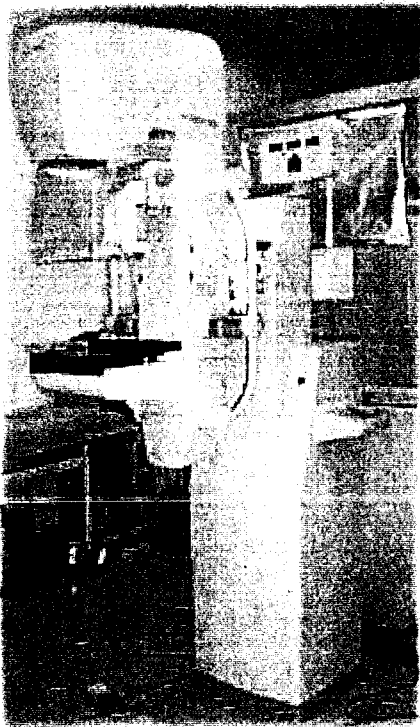
(社)日本放射線技師会
会長 北村 善明



放射線検査は、病気の早期発見に役立っています



マンモグラフィ ～乳房を圧迫する理由～



乳房を薄く
ひきのばすことで
少ない放射線で
しこりの影が
はっきり写る

がん検診における診療放射線技師の役割

がん検診における認定技師等

対象	認定技師等(診療放射線技師)
胃がん	胃がん検診専門技師
肺がん	肺がんCT検診認定技師
子宮頸がん	—
乳がん	検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師
大腸がん	—

マンモグラフィーの標準化

画質と線量の標準化



装置の標準化
(専用装置と
装置の精度管理)

撮影技術の
標準化

品質管理と安全対策

安全・安心の確保

(精度の高いがん検診の提供)

* 精度の管理

画質の管理・機器の精度管理・技術の管理

* 線量の管理

必要な画質で、適正な線量で

セミナーの開催

(がん検診受診率50%実現に向けた取り組みについて)

(がん検診普及に向けた検診従事者の確保について)

①がん検診実施のための指針に沿った講習会
マンモグラフィ講習会

上部消化管エックス線検査講習会

②全国規模での開催

③受講者のターゲット

診療放射線技師免許取得者

セミナーの開催 (課題)

・ 職場環境

受講料の個人負担

平日は出られない環境



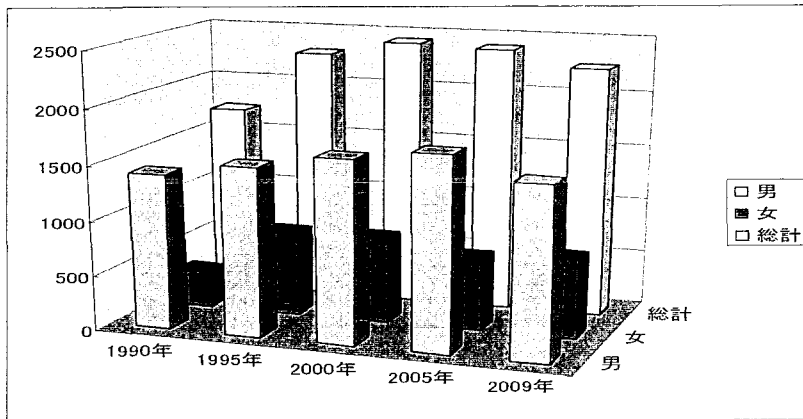
・ 受講しやすい環境づくり

施設長からの業務命令

(出張扱い、受講料負担)

診療放射線技師養成機関 男女別入学者数

年	1990	1995	2000	2005	2009
男性	1410	1528	1652	1741	1544
女性	328	766	773	657	716
総計	1738	2294	2425	2398	2260
女性の比率	(18.8)	(33.4)	(31.9)	(27.4)	(31.7)



女性放射線技師養成支援プログラム (LMGプログラム)

「乳腺マンモグラフィ検診(乳がん検診)技術研修(研修)・養成」の定めた「女性別」
養成プログラムの概要

NPO法人JPOSH(日本乳がんピンクリボン運動)

理事長・田中宛児

NPO法人JPOSH(日本乳がんピンクリボン運動)は、「乳がんで悲しむ人を一人でも少なくしたい」という思いから様々な活動を行っております。(詳細は同封の活動概要と <http://www.jposh.or.jp> をご覧ください)

その中には、乳がん早期発見のためのマンモグラフィ検査の普及や乳がん患者さんへの専門家(医師、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、ソーシャルワーカー、など)による要約の推進があります。

一方で、乳がんの医療の実際はその患者さまのほとんどが女性であるため、そして乳房という女性特有の臓器であるため、その現場では女性スタッフを望まれる声は非常に高いものがあり、NPO法人JPOSHにも「女性放射線技師さんに検査をしてもらいたい、女性技師さんであれば検査を受けるのに…」などの声が多く寄せられております。

また、欧米における乳がんのマンモグラフィ検診ユニットやプレストクリニックでは(少数の男性医師を除いて)すべて女性スタッフで構成されているのが一般的です。このように、今もこれからも乳がん検診・診療の現場で女性の放射線技師の方々が家に必要とされています。

このような状況を踏まえて、NPO法人JPOSHではより多くの女性放射線技師(Lady Mammographer: LMG)の方が乳がん領域、特にマンモグラフィ検診に興味を持っていただき、女性やその家族、友人を乳がんの苦しみから救っていただければと思い、これを支援する女性放射線技師養成支援プログラム(LMGプログラム)を設立いたしました。

初年度の2010年度は「乳腺マンモグラフィ検診(乳がん検診)技術研修(研修)・養成」の定めた「女性別」
養成プログラムを実施いたします。

応募要項(別紙)をお目通しの上、ご応募および広報のご協力をよろしくお願いいたします。

<女性放射線技師養成支援プログラム(LMGプログラム)に関するお問合せ先>

NPO法人JPOSH(日本乳がんピンクリボン運動)事務局

Tel: 06-6910-2900 fax: 06-6910-2851 Email: info@jposh.or.jp

担当: 事務局長 松田寿美子



J. POSH
JAPAN POSITIVE ORGANIZATION FOR SURVIVAL OF BREAST



ご清聴ありがとうございました